

(別紙) 町民意見募集の意見の内容及びそれに対する町の考え方

| 番号 | 意見項目 | 意見内容 | 町の考え方 |
|----|-------------------|--|---|
| 1 | 全体に関すること | 二宮町が今後 10 年を目指して取り組むべき重点基準が不明確です。優先順位を明確に具体的に表示し、町民の思いに沿った基本構想を構築しその実現に向けた施策の実施を期待します。 | 二宮町総合計画の体系として、計画期間中に重点的に取り組む内容は、基本計画に掲載することとしています。 |
| 2 | 〃 | 町民ワークショップ資料「町の現状と課題」で「二宮が抱える課題」が提示されているので、具体的で明確な目標として、町政の 3 課題が解消された姿を、10年後の将来像として示す方が適当です。3 課題は「人口減少・税収不足・過重な公共施設」です。将来像は「子育て世代が増加し、住民税収入も増え、過重な公共施設を身の丈に合わせ、持続する町」のように変更を検討してください。 | ご指摘のとおり、二宮町が抱える課題として、人口減少・少子高齢化と老朽公共施設の統廃合を含めた再配置、そして地球温暖化対策を掲げています。現在の将来像はそれらの解決を含めた目標となっているため、説明の中で課題の明確化を図ります。 |
| 3 | 基本理念 | 近年の急激な社会概念の変化にあわせて町民（特に生産年齢層）の関心の高い項目を謳った町民憲章に改定してください。誰一人取り残さないという理念の持続可能な開発目標で住民アンケートから関心が高い項目を取り入れて『「全ての人に健康と福祉を・住み続けられるまちづくり・貧困をなくす・気候変動」に対応する具体的な取り組みをしている町をつくりましょう』のように改定を検討してください。 | 今回、基本理念に設定した町民憲章は、あらゆる時代の変化を通じて普遍的な考えを包括的に表現したものであり、社会の変化に合わせて都度変更するものではないと考えます。 まずは改めて多くの町民に当時の想いを理解していただいたのち、改定等を検討するものと考えます。 |
| 4 | まちづくりの方向性全般に関すること | まちづくりの方向性（基本目標）は、抽象的で、住民アンケート結果が十分反映しているか分かりづらいので、施策分野に「アンケートから町民要望が多い 5 項目と、町政運営の重点改善分野 7 施策と、町が周知を広めたい 4 項目、加えて町政で抱える 3 課題」から反映している項目の追記を検討してください。また、アンケートの半数以上が不要と考えている観光開発推進等を載せなければいけない理由を不要と思う町民の理解を得る為に追記することを検討してください。 ・町民が要望する 5 項目： 子育て支援対策の充実、高齢者福祉の充実、自然環境の保全、 | まちづくりの方向性（基本目標）に掲載している施策分野の順序は、町民満足度調査結果に基づいた順番にしております。 また、まちづくりの方向性の施策分野の区分は、対象や取り組みの関連性からまとめており、個別の施策ごとに掲載する形としていません。 町の観光については、「観光を重視するよりも、誇りに思えるまちづくりを推進すべき」と |

| | | | |
|---|--|---|---|
| | | <p>保健・医療の充実、駅前の整備</p> <p>・町政重点改善7施策： 介護サービスの充実、学校施設の整備、道路の整備、低炭素社会の形成 財政改革、公共施設の維持管理と再編、空き家対策</p> <p>・町民周知4項目： 男女共同参画、性的少数者、パートナーシップ宣言制度、 持続可能な開発目標</p> <p>町が抱える3課題：人口減少・税収不足・過重な公共施設</p> | <p>答えた人が約33%であったものの、「観光を通じて様々な産業が活性化するまちづくりを推進すべき」と答えた人が約17%いることから、町の観光の在り方について、今年度から産業部局で検討を進める予定です。</p> |
| 5 | ” | <p>「衣食住の基本を、身近な土地と人とのつながりの中で体感することができる」というこの町の魅力を盛り込んでいただきたいです。</p> <p>農薬や飼料やガソリンなどに頼らず、地元の自然や人、商店を生かした食材を使用することは、教育、環境、地域資源、町への愛着、人とのつながりなど、あらゆる方面で横断的なメリットがあると考えます。</p> <p>またこの10年は、IT技術などの発達により、働き方が変わり、自分の居住地域選びの基準も変われば、子どもたちに必要な教育の内容も変化の著しい時代になると思います。</p> | <p>10年後の将来像の説明の中で、豊かな自然環境と町民性を、町の魅力として記載しています。</p> |
| 6 | まちづくりの方向性 (1)子どもたちの 健やかな成長と生きる 力を育てまち | <p>”土”とふれあえる場が身近にあることを記述していただきたい。これほど”土”が残っている町はあまりみかけないと、だから移住を決めたというお話をよく伺います。この先も魅力的な環境を残していただきたいです。</p> | <p>基本構想では子育てと教育が同じ項目に記載されており、「豊かな自然」の中に「土」も含まれていると解釈されます。より具体的な内容を記載する基本計画に記載することを検討します。</p> |
| 7 | ” | <p>もっと子ども達への教育環境で土とのふれあいと地産地消の食育について書いてほしいです。</p> | <p>基本構想では子育てと教育が同じ項目に記載されており、「豊かな自然」の中に「土」も含まれていると解釈されます。より具体的な内容を記載する基本計画に記載することを検討します。</p> <p>また、「食育」については、健康づくりの取り</p> |

| | | | |
|----|---|---|--|
| | | | 組みの一つの手法であるため、健康分野に表現を追記いたします。 |
| 8 | ” | <p>食の大切さを加えていただきたいです。</p> <p>『食育力』、胸に響いた言葉です。子どもの食は、ただ計算上の栄養バランスを食べるだけではなく、この野菜がどうやってできているか？だれがどんなふうに届けてくれるのか？そんなひとつひとつがこどもの心と身体をつくります。</p> <p>幸い、二宮町には食育力の高い食材を作っている農家さんや加工してくれるお店があります。食を守ることは（４）の農林漁業、商工業の発展はもちろん、掘り下げれば（３）の環境にも大きく関わってきます。</p> <p>大好きな二宮町に大いに期待していますし、私達町民も１人１人が町の魅力そのものなのだと、毎日いきいきと生活していきたいです。</p> | <p>「食育」については、健康づくりの取り組みの一つの手法であるため、健康分野に表現を追記いたします。</p> <p>また、より具体的な内容を記載する基本計画に記載することを検討します。</p> |
| 9 | ” | <p>子どもたちの生きる力の源である「“食育力“の高い環境を育む」ことも加えていただきたいです。これからの新しい時代において子どもたちが心身ともに健康に育つためには、子どもたちが日常的に土と触れ合える機会があること、食を通して生命の尊さや自然の循環を体得することが大切だと感じています。そして、それらの食育環境は地域の人々とのつながりの中から培われるものであることが理想的だと考えています。</p> | <p>「食育」については、健康づくりの取り組みの一つの手法であるため、健康分野に表現を追記いたします。</p> <p>また、より具体的な内容を記載する基本計画に記載することを検討します。</p> |
| 10 | ” | <p>明日に向かって社会に飛びたつ力強い子どもたちを育む教育環境造りが肝要です。世を挙げて国際化を推進するなか、世界を俯瞰する知力をつけるため肌で感じ合える場として諸外国との公的交流を進める。そのため姉妹都市関係構築を目指す。すでに英語の机上の勉学は当然であり、一步先んじて二宮で培ったことが将来の人材を生むためにも国際交流など多様な教育環境が充実した魅力あるまちとしてこれから二宮町が移住者を増やし発展させるための要素になり得ます。</p> <p>観光事業や国際交流をいずれは移住・永住につなげる一大要素と捉え、積極的に展開することが重要です。観光資源（国際交流を含め）を最大</p> | <p>英語教育は二宮の教育の特徴の一つであるため、教育分野に表現を追記します。</p> <p>また、より具体的な内容を記載する基本計画に記載することを検討します。</p> <p>なお、外国籍の方を含めた移住政策や観光振興は、現在の二宮町では実施していない内容のため、より具体的な内容を記載する基本計画に記載できるかを検討します。</p> |

| | | | |
|----|---|---|--|
| | | <p>限活用することが、商店会の活性化・存続の機会ともなり、二宮町の安定的存続・発展に繋がることを広く町民の賛同を得るよう周知徹底するための広報が肝要と思われます。</p> | |
| 11 | ” | <p>「個別的な教育と職業の選択が尊重される」ことも盛り込んでいただきたいです。子どもたちは学校へ行けるかどうかで区別されるのではなく、どの様な過ごし方の中でも、学んでいくことができる存在として、学校の内外に、官民それぞれの良い点を活かしあって、「教育に多様な選択肢を認める」必要性を強く感じています。</p> <p>そしてそんな子どもたちが将来活躍できるよう、大人の職業についても、個別的な生き方が尊重される町として、小さな商いが大切にされる町であることに期待しています。</p> <p>一人一人が自分らしく生きられる町であれば、自然と移住者も増えて、経済的にも豊かになっていけるものと思います。</p> <p>大きな組織が変化することは容易ではないと思いますが、この町には、子どもや地球の未来のためにと小さな活動を積み重ねながら、日々試行錯誤して下さっている方がいます。今後もますます町民の動きを積極的に取り入れていただき、この土地と人の魅力を最大限に引き出して、「二宮はここが違う」とみんなが具体的に感じられることを期待しています。</p> | <p>「個別的な教育」や「教育に多様な選択肢」といった個別具体的な表現は、より具体的な内容を記載する基本計画に記載できるかを検討します。</p> <p>小さな商いが大切にされることについては、産業分野に記載を追加したうえで、より具体的な内容を記載する基本計画に記載できるかを検討します。</p> <p>一人ひとりが自分らしく生きられる移住施策については、より具体的な内容を記載する基本計画に記載することを検討します。</p> |
| 12 | ” | <p>教育に地域資源を生かす、ということ盛り込んでほしいと思っています。地域の多くの人々とのつながりの中から教育環境が培われることを伝えてほしいです。</p> <p>例えば、地域で活躍する大人を教育現場に招いて話をきくこと、誰がつくったかわかる食育力の高い食材を給食などに取り入れることも、地域資源を生かした教育につながってくるのではないかと考えます。</p> <p>そうした子どもたちや環境に配慮した取り組みをすることが、地域の魅力を高め、自然な流れで移住者を呼び込み、やがて町のにぎわいに</p> | <p>教育分野に表現を追加します。また、コミュニティスクールの取り組みとも通じるものがあるため、より具体的な内容を記載する基本計画に記載することを検討します。</p> |

| | | | |
|----|---|--|--|
| | | <p>つながると感じます。</p> <p>これからも行政と町民がともに手を取り合い、町の魅力を高められることを願っています。</p> | |
| 13 | 〃 | <p>給食がオーガニックになったらいいのと思うことがあります。なぜなら、農薬を使わない野菜を食べることで子供達が健康に育つことができるからです。さらに、地元の農家から食材を仕入れることが増えれば地産地消となり、ガソリンなどのコストの軽減になります。すると、給食センターの運営も良くなります。</p> <p>また、農薬を使うと言うことは健康を害するだけでなく、環境汚染にもつながっています。土を汚すとそれは水に滲み出るからです。その水は巡り巡って私達の飲水となります。広い意味で環境保全まで出来るということなのです。</p> <p>さらには、公立の小中学校で給食がオーガニックになったら魅力的な環境に惹かれて移住する人も多くなると思います。最近は健康思考の方が増え、給食の内容で学校を選ぶお母さんも多いです。</p> <p>また、農家との繋がりがあれば地域とも繋がれます。それをフォローするお母さん同士もつながりが増えるので、いいことづくめで、まあいい食育が自然と広がり、未来を担う子どもたちが健全に育つと思います。</p> <p>「魅力的な環境に惹かれて移住する人も多く」や、「まあいい食育が自然と広がり」という文言を足してほしいです。</p> | <p>移住施策は他分野にまたがっているため、より具体的な内容を記載する基本計画に記載することを検討します。</p> <p>「食育」については、健康づくりの取り組みの一つの手法であるため、健康分野に表現を追記いたします。</p> <p>なお、オーガニック給食については、町としての方針が決まっていないため、今後の検討とします。</p> |
| 14 | 〃 | <p>近年 二宮は転入超過が続いています。この小さな町で高齢化も進む中、この事実は全国的にも稀で大変すごいことだと思います。コロナ禍だけが要因ではありません。それだけ都会やファミリー世帯を惹きつける魅力が二宮にあります。それは 『自然環境とその環境がもたらす素敵な暮らし。そこに住まう人々』です。これこそが二宮の財産と考えます。これを伸ばしていくことが町の活性、繁栄に必要なだと感じました。この財産に魅力を感じ今後もファミリー世帯の移住が増える＝働き盛りのお母</p> | <p>オーガニック給食については、町としての方針が決まっていないため、今後の検討とします。</p> <p>産業及び教育の分野は、より具体的な内容を記載する基本計画に記載することを検討します。</p> <p>「食育」については、健康づくりの取り組みの一つの手法であるため、健康分野に表現を追記いたします。</p> |

| | | | |
|----|---|--|---|
| | | <p>さんお父さんの転入ということになります。町の税収も増えます。まずは住む人が幸せな町なのはもちろんのこと、この町外の人達が今魅力に感じているこの環境を維持&さらに魅力アップし伸ばしていくべきと考えます。</p> <p>例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食に 地場産のオーガニック給食が出る。『子どもの食育だけではなく生産者にもお店にも地域の自然環境にもやさしい地場産食材が出る』など『給食』という1つの側面だけでなくそれを実現することにより町の中の様々が良い方向に動く。 <p>二宮町は温かい給食が出る、しかもとても美味しい。というのは現在でも子育て世帯の移住にとって大きな魅力の1つですが、それがさらに地域で取れた安心安全食材を使用しているとなれば、遠くの県外からでも移住してしまう程子育て世帯にとっては大きな魅力になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二宮には子どものいわゆる生きる力が育つ地域環境があります。(山、川、海、地域の温かいお年寄りとの関わり、議員や役場と町民の距離が近いなどみんなの中で育っているような環境) ・子ども達が、作った人の顔が分かる、農業、漁業者と特別ではなく日常として関わりがある。 <p>力あるこの二宮の環境を維持する為、基本目標 (1) 若しくは(4)にいきいきと働き、活動できる場に恵まれ、住民自身が町の魅力に気軽に出会えて、子ども達への教育環境は地域の多くの人々とのつながりのなかから培われる。衣食住の基本を子ども達は自然と体得できる食育力の高い食材が身近にある町というのをぜひ加えていただきたいです。</p> | |
| 15 | <p>まちづくりの方向性 (4) 地域資源を生かしのぎわいのある 活力に満ちたまち</p> | <p>定住促進には何よりまち全体の賑わい活性化が原点です。まず歴史的根拠のある「健康長寿の里にのみや」の全国ブランドを前面に出した観光のまちづくり方策を第一とする。風光明媚・温暖な気候・山海の幸に恵まれたわが町の環境を生かした施策を立案すべきと考えます。</p> | <p>町の観光については、「観光を重視するよりも、誇りに思えるまちづくりを推進すべき」と答えた人が約33%であったものの、「観光を通じて様々な産業が活性化するまちづくりを推進</p> |

| | | | |
|----|---|---|---|
| | | | すべき」と答えた人が約17%いることから、町の観光の在り方について、今年度から産業部局で検討を進める予定です。 |
| 16 | ” | 農地の魅力をきちんと位置付け、住民自身がその魅力を堪能でき、地元の食を楽しむことが産業振興になることを記述してほしいです。 | より具体的な内容を記載する基本計画に記載できるかを検討します。 |
| 17 | ” | ここ数年のこれらの農業への新しい動きを取り込んで、町民の自然発生的な農林水産業へのアプローチを支援振興し、魅力を広げて観光にもつなげる、といった様な事も加えてほしいです。 | 新たに転入された方たちを含めた新たな動きについて、産業分野に表現を追加します。また、より具体的な内容を記載する基本計画に記載できるかを検討します。 |
| 18 | ” | 「衣食住の基本がまちの中で体得できる、生きがいに溢れるまちづくりを推進する」ことも記述していただきたいです。この小さなまちが、自然資源の恩恵を受けながら発展し、町民力の高い地域であり続けるためには、“二宮町らしさ”を紡いでいくことが大切です。元々まちにあった地域の魅力（農業や漁業、林業などの第一次産業、昔ながらの魚屋や八百屋などの個人商店、身近に里山を感じられる自然環境）を再発掘し、できる限りの自然環境を保護することで、自然発生的に観光となりえるものが生まれ、さらに魅力的なまちが育っていくと考えます。 | 「衣食住の基本がまちのなかで体得できる」の意味合いが、読む方によって変わるものであるため、そのまま記載することは困難です。なお、二宮らしさの一つである豊かな自然を守ることによって、観光や地域経済の活性化を進めることは、産業の分野で記載しています。 |
| 19 | まちづくりの方向性 (5) 都市と自然が 調和した安全で快適 なまち | 土地利用の分野で、二宮の耕作放棄地をふれあい農園や”農”を学びたい人へ貸し出す場にしていただきたいです。畑が出来ることをメリットに移住されてくる方はたくさんいらっしゃいます。しかしながら空きがなく、私の父もふれあい農園のキャンセル待ちをしている状況です。畑が出来ることを町の強みのひとつとしていただきたいです。 | より具体的な内容を記載する基本計画に記載できるかを検討します。 |
| 20 | 土地利用構想に関する こと | 過去10年以上も有効かつ効果的な利用をされていない土地（正泉寺跡地は1989年に文化センター建設で購入、国立小児病院跡地は2004年に子ども館建設で購入）は利用方法ではなく、次の段階の処分方法（売却等）の追記を検討してください。 | 正泉寺跡地は、役場庁舎移転後にその跡地と一体的に活用を検討することとしています。また、国立小児病院跡地は昨年度に売却することが困難であることが国から示されたため、子育て関連施設としての活用を検討することとして |

| | | | |
|----|---|--|--|
| | | | います。 |
| 21 | ” | 土地利用の目標を考える際に考慮する事項として、人口減少と高齢化が進むため、地域ごとの住民数と構成住民年齢層の増減動向をふまえる事の追記を検討してください | 土地利用構想は、平成 27 年に策定した土地利用などの都市づくりの方針である都市マスタープランに定めるものであるため、いわゆるソフト計画である総合計画で新たな事項を追加するものではないと考えます。 |